

TAKE FREE

ご自由にお持ち
帰りください

地域と病院をむすぶネットワーク情報誌

みやのわ

No. 50

2016.1
WINTER
冬号

あけましておめでとうございます



あいさつでつながる ころところ

当院では、職員の接遇向上に向けて様々な活動をしています。その活動の一つに「挨拶推進運動」があり、職員から挨拶推進のためのポスターを募集しました。多くの作品の中から第1位に輝いたのは診療放射線技術科の石川知里さんのこちらの作品です。院内各所に掲示し、挨拶を交わす風土づくりに努めていきます。

特集

一人でも多くの命を助けるために
DMATの活動について

01

みやのわ創刊50号記念

03

医療機器めぐり

05

病院情報

ワンポイントリハビリ
やくくすり
薬に立つ!薬のあれこれ

07

栄養シリーズ

季節の素材で 医食同源れしび

08

リレーインタビュー

笑顔のマイ★スター

09

ご意見・アンケート

患者さま・ご家族さまの声

11

News

みやのわ情報局

12

Information

あいさつ推進活動について、ボランティア募集…ほか

13

リレーエッセイ

院長 吉田 良二

14



当院は日本医療機能
評価機構認定病院です



一人でも多くの命を助けるために DMATの活動について



↑当院のDMATメンバー

DMATとは

災害医療派遣チーム「Disaster Medical Assistance Team」の頭文字をとってDMATと呼ばれています。DMATは、大規模な自然災害や航空機・列車事故といった集団災害時に迅速に現場に駆けつけ救急処置を行います。また広域医療搬送※に携わったり、被災地内の病院に対する医療支援も行います。

※重症の負傷者を被災地外に搬出して根本治療を行うことです。

発足のきっかけ

DMAT発足のきっかけは平成7年1月17日「阪神・淡路大震災」です。阪神・淡路大震災では、初期医療体制の遅れが考えられ、平時の救急

医療レベルの医療が提供されなければ、救命できたと考えられる「避けられた災害死」が500名程存在した可能性があります。

この阪神・淡路大震災で災害医療について多くの課題が浮き彫りとなり、この教訓を生かし、各行政機関・消防・警察・自衛隊と連携しながら救助活動と並行し、医師が災害現場で医療を行う必要性が認識されるようになりました。その後厚生労働省により、災害医療派遣チーム、日本DMATが平成17年4月に発足しました。

構成

DMATの研修を受けたメンバー4〜5名で1チームを編成します。このチー

ムは、医師・看護師・業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）で構成されています。医師・看護師には救命救急の知識のみならず現場の状況を短時間に把握し、実際にどのような活動を行うかを判断するための経験値が必要とされます。業務調整員は、現場において他のDMAT・救急・消防・警察・自衛隊や自治体との連携を綿密に行うための通信手段の確立や、情報交換などの重要な任務を担っています。

当院のDMATは医師6名、看護師7名、業務調整員6名の計19名が登録され、実際の出勤に備え、院内・院外で行われる災害訓練等に参加しています。

当院の取り組み

当院では、毎年災害訓練を行っています。DMATにはこの災害訓練の企画・立案などの役割もあります。訓練の内容は毎年変えており、今回は過去2回の災害訓練をご紹介します。

【平成27年度】震度7の宇都宮市直下型地震が起きた想定で、院内被害状況確認及び多数傷病者に対する受け入れの訓練



模擬患者へ傷のメイクをしている様子



乳児の治療をしている様子



仮設病床

【平成26年度】宇都宮駅前で化学兵器のサリンが撒かれ、傷病者の搬送及び、汚染物質の除去後に治療を行う訓練



模擬傷病者の体を洗浄している様子



仮設の救急外来



訓練に参加したDMATメンバー

【今年度参加する院外の主な訓練】

●平成27年度大規模地震時医療活動訓練 *内閣府主催	首都直下地震を想定し、被災地から航空機により搬送される重症患者を受け入れ、SCU（広域搬送拠点臨時医療施設）内で診療及びトリアージを行った後、救急車により災害拠点病院に搬送する訓練
●高速道路での危険物運搬車両が関係する重大事故を想定した合同訓練 *栃木県高速道路危険物運搬車両事故防止等対策協議会主催	宇都宮市内の東北自動車道より線において、「軽油」を積載したトラックとマイクロバス、さらに普通乗用車1台が関係する交通事故が発生し多数負傷者が発生した想定で、現場での安定化処置を行い搬送支援を行う訓練
●さくら市防災訓練（多数傷病者事故救助救護訓練） *さくら市主催	さくら市桜野地内交差点において、乗用車3台による衝突事故により、多数の傷病者が発生したとの想定で、負傷者の救出訓練、応急救護所での応急処置、トリアージ、及び負傷程度に応じた医療機関への搬送する訓練



各種訓練を通じて能力を向上させるとともに、常に出勤できるように体制を維持しています。また、遠隔地への出勤も考慮し、移動手段や装備品の検討も行っています。



DMATリーダー
栃木県災害医療コーディネーター
救急科 主任診療科長

かせ けんいち
加瀬 建一 先生

Q. なぜDMATに入ったのですか？

A. 災害医療は救急医療の延長では無く、災害によって平時の医療体制が維持できない中で行われる、救命を含めた医療です。これを体験したのが東日本大震災でした。その晩に当院DMATチームを送り出した後に、医療人としてこれから何をすべきかと考え、自らもDMAT隊員となることを決心しました。

Q. DMATでの役割は？

A. 直接災害現場での活動もありますが、統括DMATとして各DMATチームの現場リーダーであり、また栃木県災害医療コーディネーターとして自治体災害対策本部での助言及び支援活動です。災害時に必要とされる医療の供給のためには、各病院・自治体・消防・警察等との相互連携が不可欠です。この医療の確立を支えるのがDMATの活動であると考えています。

Q. 今後の意気込みをどうぞ

A. 済生会宇都宮病院は栃木県の基幹災害拠点病院です。それゆえDMATチーム以外の職員も災害時には迅速且つ適切な活動が要求されます。このために日常からの地道な災害に対する訓練等の院内活動をより進めたいと思います。

みやのわ創刊50号記念

2003年新年号から皆さまにお届けしております広報誌「みやのわ」が、記念すべき50号の発行となりました。患者さまや地域の方々に済生会宇都宮病院をもっと身近に感じていただくため、これを機に今一度原点に立ち戻り、今後のより良い情報発信へ繋げていきたいと思っております。

今回は、当誌についてご紹介しませう。



「みやのわ」のコンセプト

「みやのわ」は、「地域と病院を結ぶネットワーク情報誌」として、済生会宇都宮病院に含まれる「みや」の文字に、人々の輪・和を表す「わ」を繋げて「みやのわ」と題し、年に4回季刊発行をしております。

2003年、若手事務職員を中心とした院外報企画編集委員会発足以降、より良い情報を届けるため、印刷・製本以外の作業は全て委員が行い、企画案から誌面のレイアウト、配色等に至るまで全てオリジナルで作成しています。



「コンセプト」

「絵本のような広報誌」をコンセプトとして掲げ、出来るだけ多くの写真やイラストを用いるよう工夫しています。難しく表現しがちな医療用語も患者さまの立場となつて、わかりやすい言葉に置き換えるようにしています。校正では委員全員で記事を全て読み返し、色使い、字の大きさ、行間等まで配慮しています。

読者アンケートの実施

情報提供にあたっては、定期的に読者アンケートを実施し、読者の年齢層や要望等にできるだけ沿った内容を提供できるように、随時リニューアルを行っています。働く人々にスポットをあてた記事の要望が多いことから出来たページが「笑顔の★マイスター」です。

バックナンバーのご案内

バックナンバーの問い合わせをいただくことが増えました。病棟のデイルームに設置している他、当院のホームページにも掲載していますので、ぜひご覧くださいませ。



バックナンバーはこちら

おわりに

「みやのわ」が職員と患者さま・地域の方々を繋ぎ、今後もみやのわがみな情報を発信することで、皆さまとの「わ」(和・輪)を広げていければと考えています。



H-Sデザイン賞受賞

2012年には、日本H-S研究センターによる全国医療機関広報誌コンクールに応募し、多くの作品の中からH-Sデザイン賞部門で「長野市市民病院賞」をいただきました。

H-Sデザイン賞とは「広報誌のデザインには編集に加わる医療者としての想いが多分に込められている」という観点から、広報誌のデザイン性を評価するために設立したコンクールの賞です。表彰式では審査員より「読めば読むほど、味が出る広報誌」という講評をいただきました。また病院の職員といった「人」を表紙に掲載している点も評価していただきました。

『みやのわ』

創刊編集委員長に聞く

創刊編集委員長
事務部 経営支援課 係長
上野 宏文

記念すべき創刊号を発行したのが、今から13年前の2003年1月です。創刊号から現在まで発行したすべての「みやのわ」の表紙に必ず「地域と病院をむすぶネットワーク情報誌」という文言が入っています。これは、当時の若手事務職員が立ち上げ時に掲げた強い想いであり、それを変わらず継続した形で、50号を迎えられたことは大変うれしい限りです。

当院のビジョンであります「地域と共に進化し続ける病院」と同様、今後も地域の皆さまに進化し続ける「みやのわ」が発行されることを期待しております。



【みやのわ創刊号】

『みやのわ』ができるまで

- 1 院外報企画編集委員会 開催
- 次号の構成の企画。
 - 各ページの担当者を決める。



- 2 原稿執筆依頼と収集
- 各担当者は、原稿の執筆を依頼。
 - 締め切り日には、原稿を収集する。



- 3 誌面レイアウト作成
- 委員会事務局は、パソコンで誌面のレイアウトを作成する。



- 4 記事の校正
- 事務局が作成した記事をもとに委員全員で校正する。



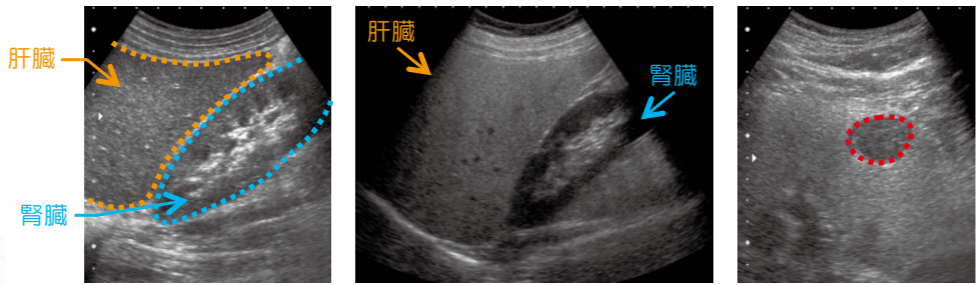
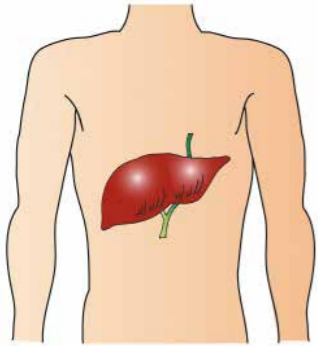
- 5 印刷・製本
- 校正が完了したら、印刷・製本を業者へ依頼する。



超音波検査では、このように見えます！

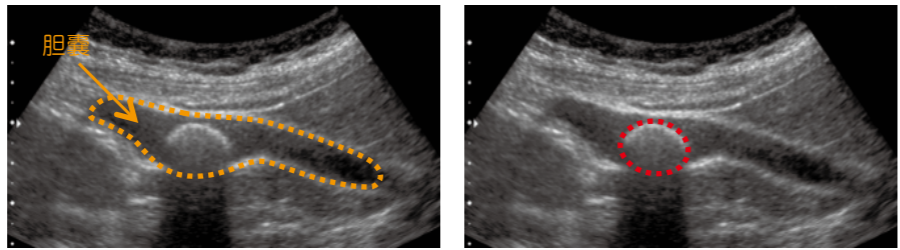
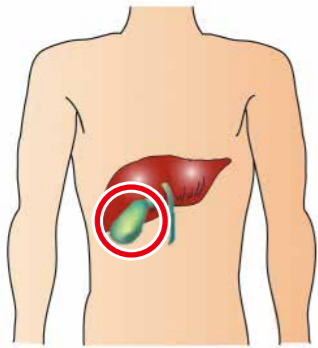


肝臓



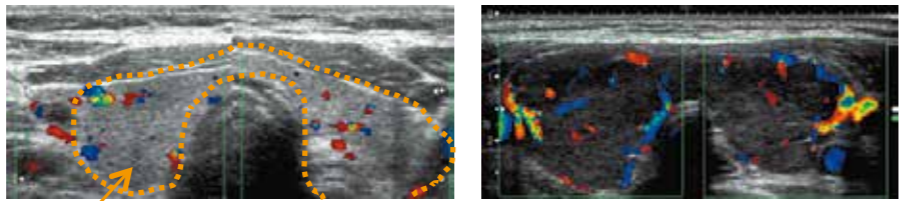
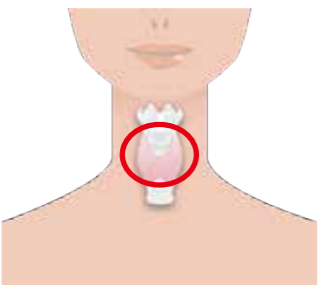
正常肝 脂肪肝 肝細胞がん
肝臓が腎臓に比べて白く見えます。 赤い枠で囲んだ部分が肝細胞がんです。

胆嚢



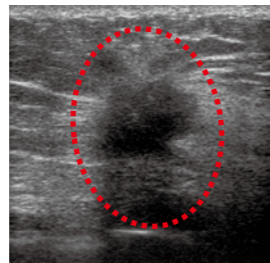
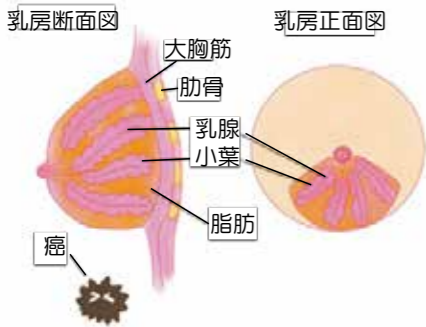
胆石
赤い枠で囲んだ部分が胆石です。〔上記写真右〕

甲状腺



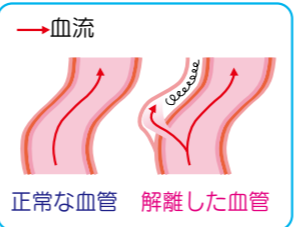
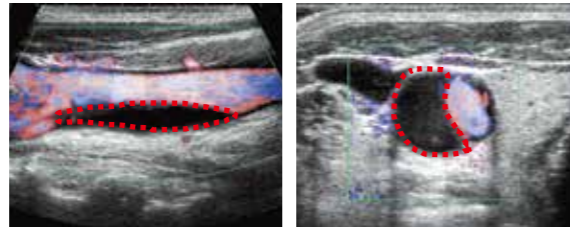
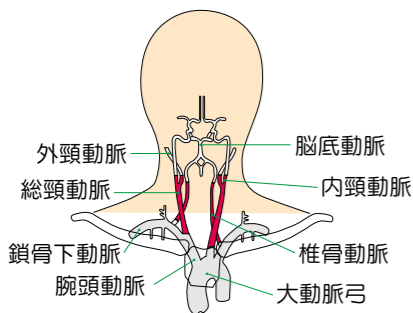
正常 パセドウ病
色がついた部分で甲状腺内の血流を検査しています。パセドウ病では血流が多く、甲状腺内が粗く見えます。

乳腺



乳がん
赤い枠で囲んだ部分が乳がんです。不整な形の黒いしこりを確認できます。

頸部血管



頸動脈解離
赤い枠で囲んだ部分が頸動脈解離です。頸動脈の層の一部が剥がれて内腔が分かれて見えます。

め	医
ぐ	療
り	機
第八回	器

名 超音波検査機器
処 2階 臨床検査技術科 超音波室

超音波とは？

超音波とは、一言で言うと「人間には聞こえない高い音」です。その超音波を出して、「イルカやコウモリは仲間の会話や、発した超音波の跳ね返りにより、エサの方向や距離を知ることができます。」



はじめに...

超音波検査（エコー検査）とは、機械から人間には聞こえない高い音（超音波）を体の組織に当てて、その反射を受信し、画像化することで体内の状態を観察することができる検査です（図1）。

人が聞くことのできる音の範囲（周波数）は、20 Hz～20 kHzとされています。超音波検査装置に使われている音の範囲（周波数）は、これよりずっと高い2 MHz～40 MHzです。



検査はどのように行われる？

超音波検査では検査部位にゼリーを塗り、検査によって異なる周波数の探触子（プローブ）（図2）と呼ばれる機械を体にあてて検査を行います。患者さまには息を大きく吸った

り、吐いたりしていただく場合があります。検査時は痛みがほとんどなく、病態把握や経過観察に有用とされています。

超音波検査の利点と欠点

超音波検査には次のような利点と欠点があります。

- 利点
 - 痛みがほとんどなく、苦痛が少ない。
 - 放射線被ばくの心配がなく、繰り返し検査ができる。妊娠されている方やお子さまの検査も可能。
 - 動いているものが観察可能。
- 欠点
 - 患者さまの体格や状態に左右されやすい。
 - 一度に観察できる視野が狭い。



探触子（プローブ）
プローブとは超音波を発信、受信する機械です。調べる部位によって使用するプローブの形状は異なります。



	観察可能な臓器	主な疾患
腹部超音波検査	肝臓・胆嚢・膵臓・脾臓・腎臓・膀胱・腹部大動脈	肝臓がん・脂肪肝・肝硬変・胆石・胆嚢ポリープ・膵臓がん・腎尿管結石・腹部大動脈瘤・虫垂炎など
頸部超音波検査（甲状腺）	甲状腺・頸下腺・頸部リンパ節	甲状腺がん・パセドウ病・耳下腺炎など
乳腺超音波検査	乳腺・腋窩リンパ節	乳がん・乳腺症・乳腺嚢胞など
心臓超音波検査	心臓	心筋梗塞・弁膜症・血栓・先天性心疾患・人工弁の状態把握など
産科胎児超音波検査	胎児・胎盤	胎児の推定体重や性別・先天性疾患の有無など
血管超音波検査	頸動脈・下肢動静脈	動脈硬化・血栓・狭窄など

超音波検査では、このような病気がわかります！



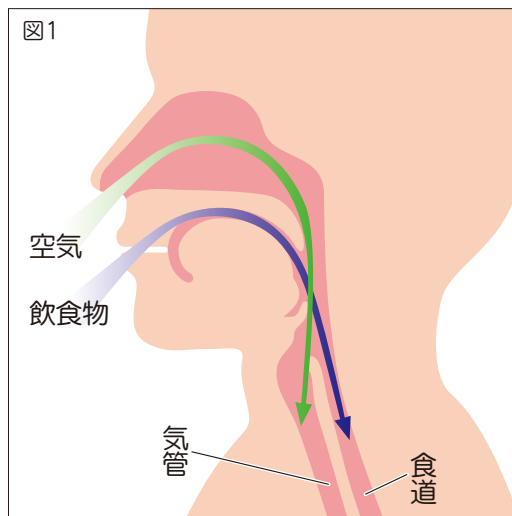
皆さんは話をしながら食事をしていて、むせることがありますか。

のどには、食べ物や飲み物の通り道と空気の通り道が一緒になる部分があります〔図1〕。

口やのどに食べ物がある状態で話そうとすると、呼吸とともに空気の流れができて食べ物や飲み物を一緒に吸い込んで、むせてしまうことがあります。同様に、食事のくしゃみやあくびでも注意が必要です。

そのため、食べ物が口に入っているときは、飲み込んでから話すようにしましょう。また、むせやすい場合には飲み込むことに集中することが有効ともいわれています。

食事の時はゆっくり落ち着いて食べましょう。



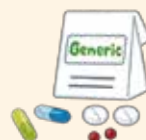
薬

やくくすりに立つ！
のあれこれ



FILE.8

ジェネリック医薬品とは？

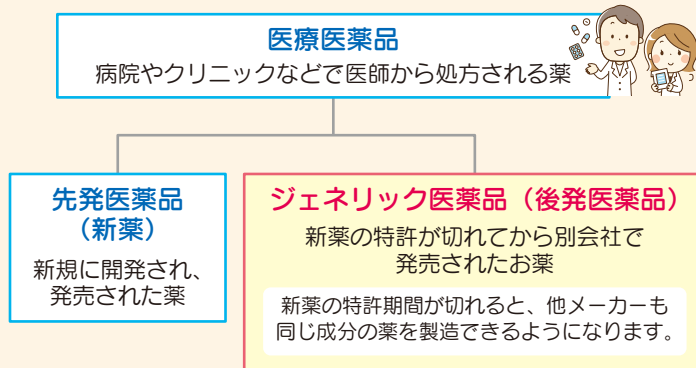


当院では今年度より、病院内で処方される薬（医療用医薬品）の一部がジェネリック医薬品（後発医薬品）に変更となりました。そこで、今回はジェネリック医薬品がどのような医薬品かを説明したいと思います。

医療用医薬品は大きく分けて先発医薬品（新薬）とジェネリック医薬品（後発医薬品）の2つに分けられます〔図1〕。先発医薬品は開発に多額の費用・時間がかかるため、独占的に製造・販売できる特許期間が設けられています。その特許期間が過ぎたあとに、他の医薬品メーカーで製造されたお薬がジェネリック医薬品です。

ジェネリック医薬品は先発医薬品と同一の有効成分を含み、効き目や安全性が同等であると国（厚生労働省）が承認した薬です〔図2〕。ジェネリック医薬品は、新薬の有効成分を利用して開発されるため、開発期間やコストを大幅に抑えることができます。

〔図1〕 医療医薬品の分類



〔図2〕 ジェネリック医薬品と新薬の違い

同じところ	変えてもいいところ
①有効成分の種類・量 ②用法・用量 ③効能・効果	薬の形状、色、味、添加物 など

Q&A

Q. なぜジェネリック医薬品の普及が推進されているの？

A. 超高齢社会を迎え、増え続ける医療費が国家財政を圧迫しています。医療の質を落とさずに医療費を削減する方法の1つとして、ジェネリック医薬品の使用が促進されています。ジェネリック医薬品が普及すると、医療費の抑制や健康保険料負担増の抑制はもちろん、患者さまの自己負担の軽減にもつながります。



季

節

の

素

材

で

医食同源れしぴ



根菜どっさり 白けんちん汁

今回の素材
根菜類



寒い季節になりました。この時期恋しくなるのは、あつあつの汁物やスープ類ですね。冬の定番と言えばけんちん汁。醤油ベース・味噌ベースで、茶色い仕上がりが一般的ですが、今回は少し趣を変えて、調味料・食材ともに『白』でまとめてみました。

使用した大根・レンコン・里芋・人参は、まさに今が旬。食物繊維やビタミンCを多く含み、腹持ちもよく、体を温める効果があります。

炒めて煮るだけの簡単調理で、旬の根菜類をたっぷりいただきますよ。

根菜どっさり 白けんちん汁

材料（4人分）

木綿豆腐	1/2丁
大根	100g
レンコン	100g
里芋	200g
人参	40g
しらたき	80g
えのき茸	50g
万能ねぎ	少々
ごま油	大さじ1
白だし(8倍濃縮タイプ)	大さじ1
白みそ	40g

《1人分あたり栄養素》

エネルギー	150kcal
塩分	1.8g

1

木綿豆腐を手で荒くつぶし、電子レンジに1～2分かけ、水切りをする。

2

大根・里芋・レンコンは1センチ大の角切り、しらたき・えのきは長さ1センチ大、人参は小さめのいちょう切りにする。

3

鍋にごま油を熱し、木綿豆腐を焦げないように炒める。(水分が出てくるまで)

4

残りの材料を加え、全体がしんなりするまで炒める。水を加え、灰汁を取りながら、材料が柔らかくなるまで煮込む。

5

白だし・白みそを加えて、ひと煮立ちしたら出来上がり。薬味に小口切りした万能ねぎを散らす。

ポイント



- 白く仕上げたいので、焦がさないように気をつけましょう！
- 出来たてよりも、1時間以上置いてからのほうが、味がなじんでおいしいです！



いつも元気に笑顔で働くミツを教えるもろうへく、笑顔の「匠」の素顔に迫るコーナーです。ここでは、日々の業務や職種についても詳しくご紹介いたします。

管財課とは？

読んで字のごとく、当院の財産を管理している課です。ここでの財産とはお金のことではなく、建物や、機械・衛生・空調・電気・ガス設備などのことであり、それらを幅広く管理しています。

管財課の仕事は？ (ぶのやの管理ついでな)

随時業務としては、修繕作業をはじめ、建物や機械設備のメンテナンス・点検といったような維持管理を行っています。

また、防火管理の業務を担っており、日常点検だけではなく消防訓練の指導等も行っていきます。

管財課より皆さまへ

当院では、病院機能を維持したまま、修繕作業・メンテナンス・工事・訓練等を行っています。場合により患者さまや面会の皆さまにご不便をお掛けする事もありますが、影響を最小限に留めるよう努力してまいりますので、今後ともご協力を宜しくお願いいたします。



Group photo

シリーズ第9回 管財課

今回は、管財課に勤務する後藤さんにお話をうかがいました！



●●職員紹介●●

管財課の皆さん
(前列、左から2番目が後藤さん)



消防訓練について



自力で歩行出来ない方でも階段で安全に避難できるようにと導入された器具です。



当院では、消防署員立ち会いのもと、消防訓練を行っています。火災・地震等の災害から人的・物的被害を最小限に抑えることを目的としており、そのために行うべき「通報連絡」「初期消火」「避難誘導」を訓練しています。

私たち管財課は、避難器具の使用方法を各事前説明や、訓練に立ち会い、改善点等が無いかチェックを行っています。



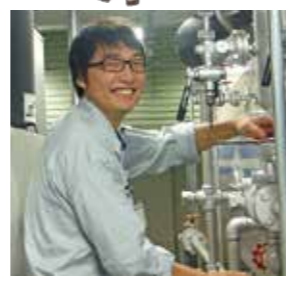
計測タイムを記録し、災害時に避難までの程度時間がかかるかの参考にします。

後藤さんのある日のスケジュール



8:30	出勤、引き継ぎ
9:00	工事打ち合わせ
10:00	修繕作業
12:00	休憩
13:00	工事立ち会い
13:30	修繕・点検作業
16:30	機械設備のメンテナンス
17:30	退勤

マイ★スターに一问一答！



ごとう しょうた さん
後藤 翔太 さん

Q. 趣味は何ですか？

A. スポーツ(特に、野球・ソフトボール・ゴルフ)です。当院のソフトボール部に入部しており、全国大会優勝を目指して練習に励んでいます。



Q. 気分転換したいときはどうしていますか？

A. 思いっきり運動した後に、漫画を読みながらビールを飲むことです。

Q. この職種を目指したきっかけを教えてください。

A. 学生時代、電気を専攻していました。一口に電気と言っても、様々な業種が存在するため、多くの職場の研修に足を運びました。最後に当院の研修を受けた際に、昨今の医療には電気が不可欠であると説明を受けました。他施設に比べて大きな責任を伴うと共に、とてもやりがいのある職業であると感じ、医療施設の施設管理業務を目指すことに決めました。

Q. 今後の目標・意気込みを教えてください！

A. 患者さまにより安心してより快適にご療養いただくことを最優先に考え、維持管理していくことはもちろんのこと、中でも環境問題等を意識しながら省エネ活動にも積極的に取り組んでいきたいと思っています。

外来患者さま・ご家族さまの声

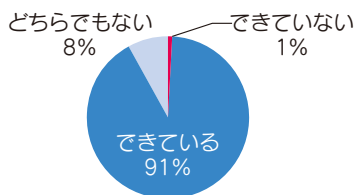


当院では、各部署の接遇リーダーを中心に職員の接遇向上に向けて活動をしております。その中で、平成27年7月に院内パトロールを実施し、668名の患者さま・ご家族さまのご意見を伺いました。今回、調査結果といただいたご意見について対応を検討しましたのでご報告いたします。

ご意見

対策

Q1. 職員の「あいさつ」について

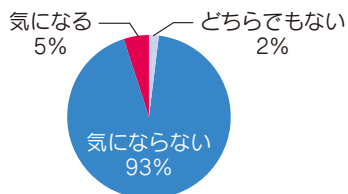


・挨拶をする人としていない人がいる。

ご指摘があった部署に対して意見を戻し、全職員が挨拶できるようにしていきます。



Q2. 職員の「身だしなみ」について



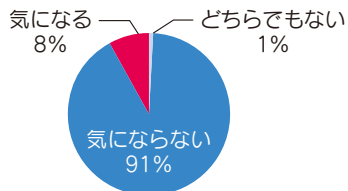
・名札の氏名が見えない。
・髪の色や化粧が明るすぎる。
・香水やたばこの臭いが気になる。
・髪型が気になる
・白衣や靴が汚れている。



当院で、定期的実施している身だしなみのチェックを強化し、医療人として清潔感のある身だしなみを心掛けていきます。



Q3. 職員の「説明」について

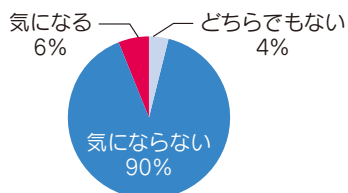


・専門用語を使わないでほしい。
・何度も同じことを聞かれるが、職員間の情報共有ができていないのか疑問。
・早口で分かりにくい。

患者さまやご家族の方の立場に立った、分かりやすい説明を行います。



Q4. 職員の「態度」について

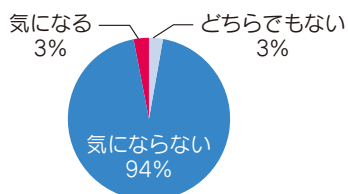


・忙しそうで声をかけにくい。
・マスクをしているため、表情が分かりにくい。また、聞き取りにくい。
・私語が気になる。
(エレベーター内、廊下)

忙しさを態度に出さないように心がけ、患者さまやご家族の方が声をかけやすい雰囲気作りをしていきます。



Q4. 職員の「言葉遣い」について



・不適切な敬語を使っている。
・職員間での呼び方が気になる。

当院で提唱している「はいおあしすよ」を全職員に徹底していきます。

は：はい	し：失礼いたします
い：いかがですか	す：すみませんが
お：恐れ入ります	よ：よろしいですか
あ：ありがとうございます	



このたびは、院内パトロールのインタビュー調査にご協力いただき誠にありがとうございました。皆さまから頂いたご意見を真摯に受け止め、当院に来て良かったと思っていただけるような、より良い接遇を行っていきけるよう、今後も活動を続けて参りたいと思います。



栃木トヨペット株式会社より車椅子が20台寄贈されました



当院は、栃木トヨペット株式会社様より、車椅子20台を寄贈いただくことになり、10月9日、贈呈式が執り行われました。

車椅子の寄贈は、昭和31年同社創業以来の経営理念である「社会公共福祉への貢献」を形に表したものです。

贈呈式では、新井祥司代表取締役社長から「病院に通院や入院されている方々にぜひ使っていただきたい。」と挨拶があり、新井社長から吉田院長に目録が手渡されました。

これを受けて吉田院長からは「寄贈いただいた車椅子はぜひ有効に活用させていただき、患者さまの負担軽減のために役立てたい。また当院としては今後も地域医療の向上のため、関連機関や地元企業との協力を図りながら、地域から信頼される病院になるべく職員一同努力していく所存である」との謝辞とともに、感謝状と記念品が贈られました。

今回寄贈していただいた車椅子は、正面玄関の車椅子コーナーなど、利用しやすい場所に配置し、来院される患者さまのために大切に使用させていただきます。



コーラス八坂の皆さまを迎えて『秋の音楽会』を開催しました



当院では、患者さま、ご家族のみなさまに癒しのひと時をお過ごしいただくため、季節ごとにコンサートを実施しています。10月14日は秋の音楽会を開催しました。今回は、「コーラス八坂」という合唱団体の皆さまに素晴らしい歌声を聴かせていただきました。

この日は、しゃぼん玉、雨降りお月さん、花は咲く、ビリーブ等、馴染みのある曲を合唱で披露していただきました。また虫の声、浜辺の歌は、独唱で聴かせていただき、美しい歌声に皆さま聞き入っていました。最後は突然のアンコールにもお応えいただき、全員で「ふるさと」を唄い、盛況のうちに幕を閉じました。



非常勤職員 林 洋克氏が外務大臣感謝状授与式に出席しました



11月5日外務省において、国際緊急援助活動参加者に対する外務大臣感謝状授与式が開催されました。

当院からは、4月25日に発災したネパール大地震に際して、JDR*の医療調整員として派遣された非常勤職員の林洋克氏がこの度、感謝状を受けました。

林洋克氏は医療調整員として、2次隊のメンバーとして選抜され5月7日より2週間の活動を行いました。現場では主に環境整備を担当し、医師や看護師が活動しやすい環境を整備することや、不足した物品を調達手配する等の業務を中心に行いました。

感謝状授与式では、木原外務副大臣から感謝状の授与と、各チーム・部隊の活動は、被災国政府及び国際社会から高く評価されているとして、国際緊急援助活動参加者及びこれを支える関係者に対し改めて敬意と謝意が述べられました。

当院では、こうした国内外での災害医療活動の知見を広く共有し、しっかり次につなげる努力を、今後も引き続き払って参ります。

*国内災害に対しては今回特集（P1～2）でご紹介したDMATチームがありますが、国際災害に対してはJDR（JICA国際緊急援助隊医療チーム）があります。JDRは被災国の支援要請に対し政府が派遣を決定した時に派遣されるチームです。

INFORMATION 1

一般外来診療のご案内

受付時間 **8:30~11:00**

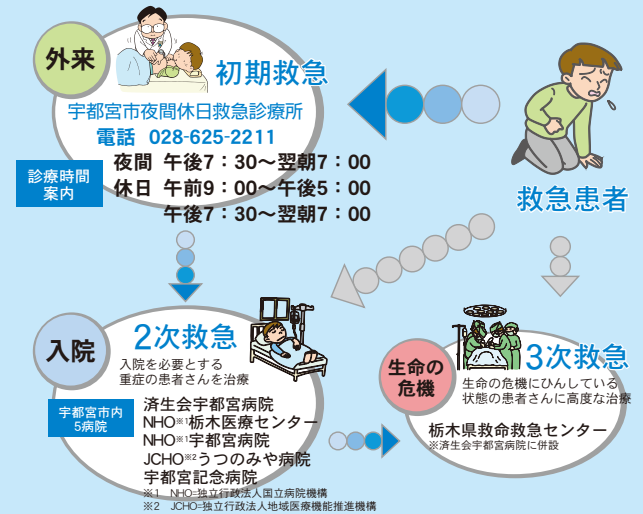
(予約患者さまの受付時間は、この時間限りではございません。)

診療科により受付時間が異なる場合がございますので、詳細はホームページまたは初診受付前設置の「診療部各科外来担当医師表」をご確認ください。受診科に関するご相談は、1階エントランスホール「総合案内」の看護師にお気軽にお声かけください。

※当院を初診で受診する際は、まず、かかりつけ医に受診し、専門的な治療や検査または入院などが必要とされた場合に、紹介状を持参していただきますようお願いいたします。(初診時に紹介状がない場合には、選定療養費3,000円+消費税をお支払いいただくこととなりますので、ご理解のほどお願いいたします。)お問い合わせやご質問がございましたら、総合受付までお尋ねください。

INFORMATION 2

栃木県からのお知らせ 救急医療体制のお知らせ



INFORMATION 3

無料低額診療のご案内



当院は、社会福祉法第2条に規定する第2種社会福祉事業として、無料または低額な診療を行う医療機関です。

治療費の支払いにお困りの方は、1階「がん相談支援センター/医療相談・看護相談室」の医療ソーシャルワーカーにご相談ください。

INFORMATION 4

栃木県からのお知らせ とちぎ子ども救急電話相談 028-600-0099

午後6:00~午前8:00(平日)
午前8:00~午後6:00(休日)



お子さんの急な病気やけがで心配なとき、ご連絡ください。看護師が対応のアドバイスをいたします。

INFORMATION 5

あいさつ推進活動 投票へのご協力 ありがとうございました

あいさつでつながる
ところどころ



当院ではあいさつを交わす風土づくりを目指し、挨拶推進活動に取り組んでいます。その一環として職員からポスターを募集し、投票を行うことで活動を盛り上げています。

昨年度より患者さまにも投票にご参加いただき、1,400票を超える投票の中、1位に選ばれた作品を院内に掲示し、11月を挨拶推進月間として、ラウンドなどを行いました。

投票にご協力いただき、本当にありがとうございました。

教育研修部門

INFORMATION 6

ボランティア募集のご案内

当院では、患者さまの健康回復を共に願い、ご協力くださるボランティアの方を募集しております。

- 【募集人数】 5~6名
- 【応募条件】 半年以上継続して活動できる方(学生を除く)
※無報酬での奉仕活動です。
- 【活動内容】 高齢者の見守りと話し相手
火曜日・金曜日 13:30~16:00



【お問い合わせ】

〒321-0974 栃木県宇都宮市竹林町 911-1
済生会宇都宮病院 地域連携課：荻原
028-626-5500(内線：5060)

診療実績	平成27年9月	平成27年10月	平成27年11月
延外来患者数	30,986人	32,262人	29,572人
実入院患者数	1,324人	1,405人	1,400人
平均在院日数	13.0日	12.9日	13.1日
救命救急センター-患者数	1,420人	1,351人	1,279人
救急車台数	453台	477台	461台
手術件数	546件	551件	526件



新年のご挨拶

院長 吉田 良二

明けましておめでとうございます。皆さまには健やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。

当院は栃木県救命救急センターを担う病院で、従来から地域において急性期病院としての役割を果たすべく、日々高い技術の習得、質の向上に努めてまいりました。その結果、平成26年には厚生労働省から大学病院に準じた機能を有する病院で、「高度急性期病院」に位置づけられるDPC病院II群に指定されました。現在、当院ではこの位置付けに相応しい安全で信頼性の高い医療を提供し、患者さま、およびご家族に満足していただくことにより、地域の皆さまから頼りにされる病院を目指して鋭意努力し続けております。

さて、日本における少子高齢化が急速に進む中、国では誰もが適切な医療・介護サービスが受けられる社会を実現するため、急性期病床の位置付けを明確化し、医療資源の集中投入による機能強化を図るなど、病院・病床の機能分化・強化を推進する政策を進めています。それを受け当院は、外来では専門的な治療を要する方、入院では重症救急疾患や集中的に治療を要する方にご利用いただくことが、地域の中での役割であること認識し、少しでも多くの重症患者さまを受け入れるために、急性期での治療が終わりましたら、回復期や長期療養期の病院に転院、あるいは、ご自宅にお帰りいただくかかりつけ医の先生方にフォローアップをお願いするなど、地域との医療連携を推進しています。その際に

は、緊密な連携をとり、ご本人やご家族にご迷惑をおかけしないよう十分に配慮させていただきますので、ご理解下さいますようお願いいたします。

また、当院では社会貢献の一環として、地域の子育て家庭が安心して働ける環境作りを支援する目的で、昨年4月より地域型及び病児保育事業をスタートさせ、さらに7月からは、性犯罪や性暴力の被害に遭った女性を支援する目的で、性被害者サポートセンターを立ち上げました。地域の方々のお力になれればと考えております。

最後になりましたが、本年が皆さまにとって希望に満ち溢れた年になることを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



ちょこっとメモ 1月25日

日本最低気温の日

1902(明治35)年、北海道旭川市で日本の最低気温の公式記録-41.0℃を記録しました。以降、これより低い気温を観測するも、気象庁の公式記録の対象から外れていたため、旭川市のこの記録が公式の日本最低気温となっています。余談ですが、これは1981(昭和56)年2月27日の富士山頂の記録-38.0℃よりも低い気温です。

近年の気温は上昇傾向にあるため、この記録が更新される可能性は低いかもしれませんが、まだまだ寒い日が続きますので皆さまどうぞご自愛ください。

編集後記

みやのわ 編集スタッフのわ

新年あけましておめでとうございます。今回は50号という節目にあたり、改めて当誌「みやのわ」についてご紹介させていただきます。

2003年の創刊から今年で13年目を迎えますが、これも偏に読者の皆様の応援があつてこそ一同感謝しております。これからも「みやのわ」をよろしく願います。

さて、2003年の出来事を調べてみると、「地上デジタルテレビ放送が東京、大阪、名古屋で開始」「鳥インフルエンザ感染発生」「六本木ヒルズグランドオープン」とありました。どれもついこの前の出来事のように感じ、この頃私自身はどうだったのか思い出し、出してみたら、なんと中学生！ 時が過ぎるのはとても早い、痛切に感じた瞬間でした……。

最後になりますが、今年1年が皆様にとって良い年となりますように。



URL: www.saimiya.com

済生会宇都宮病院理念

1. 医療サービス提供者として次の基本を守ります
 - ・安全で信頼性のある医療を提供します
 - ・医療を受ける方の権利と尊厳を尊重し、満足度の向上に努力します
2. 地域基幹病院として次の役割を果たします
 - ・地域医療の向上に貢献します
 - ・地域の医療福祉機関と密接に連携し、地域から頼られる存在になります

当院における患者さんの権利と責任

Rights & Responsibility

患者さんの権利 *Rights*

1. 個人として尊重され、適切な医療を受けること
2. 病気や治療の内容、および回復の可能性について、わかりやすい言葉や方法で説明を受けること
3. 手術や検査など重大な診療行為を受けるかどうかの判断に、必要かつ十分な説明を受けること
4. 治療方針の決定に主体的に参加し、自分の意思で治療を受けるかどうかを決定すること
5. 痛みを和らげるために、原因に応じた適切な治療、ケアを受けること
6. 他施設の医師に意見（いわゆるセカンドオピニオン）を求めること
7. 医療に関する個人情報保護され、プライバシーが守られること
8. 治療を継続するために、適切な医療機関の紹介を受けること
9. カルテ開示を求めること
10. 会計の内容について説明を受けること
11. 治療に納得がいかない場合は、自分の意思で退院すること
12. 診療行為において事故が発生した場合は、その内容を事実に基づいて、可能な限り詳細に説明を受けること

患者さんの責任 *Responsibility*

1. ご自身の病状について、正確に話していただくこと
2. ご自身の病気や医療行為の経過について気になる点があれば、スタッフに申し出ていただくこと
3. 同意された治療を受けるにあたっては、医療スタッフの計画や指示に基づき、療養していただくこと
4. 治療を受けない選択をされた場合、または医師の指示に応じない場合、それにより生じる医療上の問題には、ご自身の責任で対応していただくこと
5. 受けた医療に関する支払いには、速やかに応じていただくこと
6. 当院での入院治療が終了した場合には、医師の指示に基づき、速やかに退院または転院していただくこと
7. 他の患者さんや医療スタッフへの迷惑行為（大声、威嚇、暴言、医療行為の強要など）は行わないこと
8. 院内は禁煙のため、喫煙は院外の喫煙所を利用していただくこと
9. 面会時間、電子機器の取り扱いなど、院内の規則を守っていただくこと

当誌「みやのわ」では、読者の皆様からのご意見や感想をお待ちしております。

お名前等の個人情報は、一切掲載いたしません。匿名でご投稿頂いても結構です。また、診療に関する個人的なご質問やご意見はこちらでは受け付けておりませんのでご了承ください。

はがき等の場合 〒321-0974 宇都宮市竹林町911-1 済生会宇都宮病院 経営支援課
 電子メールの場合 miyanowa@saimiya.com